

来聴歓迎・入場無料

関東シンビオ・黄檗会 講演会

日時：平成24年12月15日(土) 13時30分～(13時開場)

場所：京都大学東京オフィス 電話 03-5479-2220

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office> 参照

東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟27階

プログラム

13:30

開会の辞

13:40

【講演1】 安全な原子力発電で安定した電力供給をそして安心できる社会の実現に向けて 日本原子力発電株式会社 参与 新田 隆司氏

日本初の商業用軽水炉が運転開始したのは1970年、私が原子力発電所で働き始めたのはその2年後。その後、次々と商業炉が運転開始し、幾多のトラブルや困難を乗り越え安全・安定運転を築いてきた。然し、昨年の東日本大震災とそれに伴う津波により、東京電力福島第一原子力発電所では過酷事故が発生し原子力災害を引き起こしてしまった。本事故の教訓と今後の課題を抽出し、安心できる社会の実現に向けて各々が努力していく必要がある。

14:50

休憩

15:00

【講演2】 迷走する日本のエネルギー・環境政策 旭リサーチセンター 相談役 永里 善彦氏

政府は、9月14日、2030年代の原発稼働ゼロを目指す方針を盛り込んだ新たな「革新的エネルギー・環境戦略」をまとめた。急ごしらえの原発稼働ゼロ目標への反発が強く、政府のエネルギー・環境政策が揺れている。2020年に95年比25%温室効果ガス削減の公約を取り下げ、年末までに温暖化対策や原子力依存度などを定めた「エネルギー基本計画」、省エネや節電目標を盛り込んだ「グリーン政策大綱」などをまとめる。一方、脱原子力依存を求める世論を意識して、政府は、再生可能エネルギーの大幅導入で対応しようとしているが、果たして可能か。太陽光、風力、そしてバイオマスエネルギーの問題点と政府の対策の危うさについて述べる。

16:10

閉会の辞

16:20

懇親会

時間 17:00～19:00
会場 京都大学東京オフィス(講演会会場と同じ)
会費 ¥5,000(食事、飲み物込)

永里 善彦

演題：迷走する日本のエネルギー・環境政策



【プロフィール】

環境省 中央環境審議会臨時委員・総合政策部会/地球環境部会等委員
文部科学省 科学技術・学術審議会専門委員
略歴

昭和40年 慶應義塾大学経済学部卒業
平成11年 京都大学大学院エネルギー科学研究科博士課程修了(エネルギー科学博士)

昭和40年 旭化成工業(現・旭化成)入社
昭和62年 旭リサーチセンターに外向
平成16年 同代表取締役社長、
平成24年4月 同相談役

『かしこい家の作り方』(共著)日本工業新聞社(2000年)他多数

新田 隆司

演題：安全な原子力発電で安定した電力供給を
そして安心できる社会の実現に向けて



【プロフィール】

略歴
昭和47年 京都大学工学研究科修士課程(電気工学専攻)卒業、同年関西電力に入社
安全解析・原子力設計等を担当後、原子力副事業本部長(原子力技術担当)に従事

平成16年 日本原子力発電(株) 取締役
平成18年 常務取締役(開発計画室及び研究開発室担当)
平成24年 参与 に就任
現在に至る。

お問い合わせ・参加申し込み先：中村 洋之 メールアドレス：hiro_ashiya@apost.plala.or.jp